

Profile

●高原 守 (たかはら まもる) 指揮・音楽監督



1972年4月、国立音楽大学卒業後、ニューヨーク・フィルハーモニック・オーケストラの桂冠指揮者であるレナード・バーンスタインの下で学ぶ機会を与えられて渡米。76年にニューヨークフィルハーモニックのメンバーを中心に構成されていたフィルハーモニア・ヴィルトージ・オブ・ニューヨークを指揮し、ニューヨークデビュー。以来79年春にニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルの原型であるニューヨーク・メトロポリタン室内管弦楽団の音楽監督に就任し、日本演奏旅行に参加。85年には大阪国際フェスティバルやつくば博などで披露したニューヨーカーらしい若々しい演奏で好評を博した。また、日本を代表するさまざまなジャンルのソリストたちとの共演は常に話題を呼んでいる。

86年からは毎年日本公演を行っており、特に唐招提寺(奈良)での演奏が目され、高い評価を得た。その後も日本の伝統と歴史的に意味深い場所である出雲大社(島根)、厳島神社(広島)、明治神宮(東京)などで演奏し、東西文化の見事な融合を創り出して大成功を収めている。90年からは8ヶ国を巡る東南アジアツアーを3回行い、さらに毎年ニューヨーク国連本部での表彰式典の演奏を行うなど、国際交流に大きく貢献している。「生活の中に音楽を！」と願う高原のメッセージを数多くの合唱団、合奏団や学生サークルの皆さんとのジョイント・コンサートで具現化し、音楽教育にも積極的に参加している。2000年5月31日には、ニューヨークのカーネギーホールにて、東京の福祉施設「ゆきわりそう」に通う障害者で作る合唱団およびニューヨークの合唱団とベートーベンの第九を演奏し、会場は温かい拍手に包まれた。また、03年の日本公演で実現した静岡県藤枝市の総合病院でのロビーコンサートは、会場を穏やかな空気に包みこみ、音楽の持つ癒しの力を再認識できるコンサートとなった。平成21年度外務大臣表彰を受ける。クラシックの枠にとらわれないユニークな音楽活動が、益々期待されている。

●鈴木 健史 (すずき たけふみ) ヴァイオリン

サレジオ学院中・高等部、東京音楽大学卒業後、NYマネス音楽院に進み、ディプロマ取得。学部長推薦による全額奨学生としてボストン大学大学院に入学。D.オイストラフの高弟マズルケヴィッチ夫妻に師事、Director's Award受賞。ニューヨーク、ボストンにてリサイタル開催。ヨーロッパ、アメリカ、カナダの音楽祭のコンサートに出演。帰国後「横浜市緑区制30周年記念・緑区民音楽祭新人演奏会」、「横浜国際交流ラウンジ主催コンサート」に出演など、ソリストとして活動を展開。教育活動に積極的に取り組むとともに数多くのチャリティーコンサートに出演。05年よりNYSEの日本公演にゲスト出演。09年2月、高原守が指揮した横浜開港150周年記念コンサートの首席を務めた。同年8月、NYSEとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を協演。9月、朝日新聞大阪本社アサコホール主催のリサイタル出演。昨年7月、横浜関内ホールにてNYSEとモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番を協演。いずれも好評を博した。来年は、横浜市鶴見区にオープンした鶴見区民文化センター「サルビアホール」でNYSEと協演することが予定されている。

●The New York Symphonic Ensemble

(ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル) 管弦楽

指揮者高原守が率いるニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルは1979年ニューヨーク・メトロポリタン室内管弦楽団として発足した後、ほどなくして現在の名称に改められ、今年で31シーズン目を迎える。団員はメトロポリタン・オペラ・オーケストラのメンバーをはじめとした、ニューヨークを中心に第一線で活躍している演奏家が構成されており、メトロポリタン・オペラ・オーケストラの特色である優れた旋律が、彼らの音楽の特色を創り出す。またソロ活動に意欲的で、優れたキャリアをもつ有名なアーティストが多数加わっており、ソロをフューチャーした作品を多くレパートリーとしている。毎年、ニューヨークの国連本部で開催されるUNFPA(国連人口基金)の表彰式典では、世界中の受賞国の音楽をアレンジした演奏で好評を博している。ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルの活動のユニークさは、いかにもニューヨークらしい明るく透明でハートにしみいるような魅力的な演奏をするというだけでなく、世界中の若き演奏家たちを育て、広く紹介している点にある。

●税所 美智子 (さいしょ みちこ) メゾソプラノ

武庫川女子大学音楽学部声楽科卒業、同大学専攻課程修了。「カルメン」メンデルス、「フィンガロの結婚」ケルビーノ、「セルビアの理髪師」ロジーナなど多数のオペラに出演。その後林光氏の作品に傾倒して集中的に出演する一方、演出助手として「カルメン」「阿国」などを手掛ける。近年は若い演奏家の育成・アマ合唱団の指導に力を発揮するとともに、コンサートの企画・演出・合唱指導に卓越しており、多くの成功を収めている。「癒しの歌声」、「感動の指導」は人々の心をとらえて離さない。関西二期会会員。

●アントニオ古賀 (あんとお こが) ギター

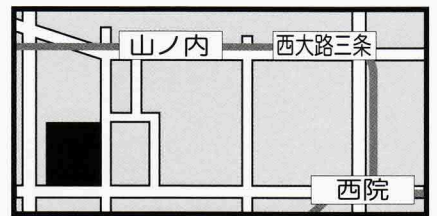
8才の時からクラシックギターを習い、昭和の歌謡界の作曲家、故古賀政男の直弟子として、古賀メロディの継承者の重責を担う。平成7年には、古賀政男生誕90周年を記念して、古賀メロディを主題にしたギター コンチェルトを発表し、各地の交響団とジョイントコンサートを開催、好評を博す。同年8月にはキューバにてコンサートに出演。キューバ政府より永年の功労を称えられ、文化功労賞を受賞。平成9年、『日本人メキシコ移住100周年記念コンサート』、平成10年、『日本人キューバ移住100周年記念コンサート』、『日本人アルゼンチン移住100周年記念コンサート』に出演。平成15年には、(社)全国日本学士会より文化部門でアカデミア賞を受賞。平成16年6月より芸能生活45周年を迎える現在、日本ギター指導者協会会長を務める。全国各地で「ギターコンサート」を開催。さらに、日本キューバの民間大使として活躍している。

●コンサートの収益金の一部は、義捐金として山陽新聞東京支社を通じて東日本大震災の被災者の方々に送らせていただきます。

会場のご案内

京都外国語大学
森田記念講堂

阪急電車 西院駅徒歩約15分
京都市右京区西院笠目町6
Tel. 075-322-6051



<お知らせ>お帰りは、京都市営バスの臨時便が阪急線「西院駅」、「四条大宮駅」経由でJR「京都駅」まで増発されます。

チケット FAX オーダーシート fax: 045-901-1756

必要事項をご記入して送信してください。FAXを頂いた方に振込口座を連絡させていただきます。代金の入金を確認できましたら、チケットを郵送させていただきます。なお、代金の振り込み手数料はご負担願います。送信いただいた情報は、チケットの郵送、お客様への連絡、公演案内にのみ使用させていただきます。

ふりがな		お振込み金額	申し込み枚数
お名前		円	枚
ご住所	〒	お客様電話番号	お客様 FAX 番号